

■鹿児島県における近年の読書活動推進の流れ

■親子20分読書運動（昭和35年～）

鹿児島県立図書館 久保田彦穂(棕鳩十)館長が提唱。

その後、県内各地に広がり、各地域で様々な取組がなされ、その精神は今なお深く息づいています。

なお、県においては近年（平成元年以降）次のような事業が展開されています。

■豊かなまちづくり読書推進事業（平成元年～7年）

- ・地区親子読書巡回セミナー
- ・読書推進キャンペーン

■心を育てる「本も友だち20分間運動」推進事業（平成8年～12年）

- ・読書シンポジウム
- ・ポスターの作成・配布

■乳幼児期からの読書活動の推進（平成13年～15年）

- ・「絵本ガイド」の作成・配布
- ・指導者育成の研修会

■「広げよう深めよう『読み聞かせ』指導者研修会」（平成16年～18年）

- ・父親も対象とした読み聞かせの指導者研修会

■鹿児島県子ども読書活動推進計画(第1次計画)の策定

平成16年2月

■「自ら本に手を伸ばす子ども」育成事業（平成19年～21年）

- ・指導者を対象とした研修会

■鹿児島県子ども読書活動推進計画(第2次計画)の策定

平成21年2月

■かごしまっ子20分読書運動「いつも身近に1冊の本を」（平成22年～25年）

- ・読書活動推進員養成講座（読書ボランティアグループの育成）
- ・おやこ1冊読書（県立図書館）

■鹿児島県子ども読書活動推進計画(第3次計画)の策定

平成26年1月

■鹿児島県子ども読書活動推進計画(第4次計画)の策定

平成30年12月